

2026.4 オープン予定 名工建設総合技術研修センター 誕生。

未来を支える社員に、高度な学びを提供する。



行くのが楽しみな場、そしてまた来たくなる場。

生活棟



研修センターでの「学び知り、見て触れて、やって体感する」研修の流れ（一例）

研修①：学ぶ・知る

座学による基礎知識の習得をめざします。業務の基本や安全に対する考え方など基礎を学習します。

研修②：見る・触れる

百聞は一見に如かず。モックアップの見学や安全に関する資料閲覧によって意識の向上をはかります。

研修③：実践・体感する

「実習での失敗体験も大切な経験」。モックアップや実習設備、危険体感設備、VR学習によって経験を積み重ねます。

研修④：知識の共有

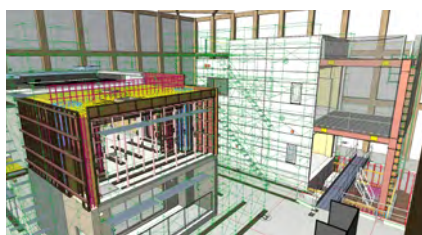
研修で知った知識や失敗談などをディスカッションすることにより、情報共有と連帯感を醸成します。



研修施設として、日本最大級の木造建築。

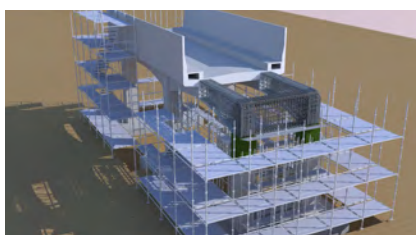
何度も訪れたい場所、仲間と共に学び、絆を深める。

1 建築実習設備



建設途中の現場を再現した鉄筋コンクリート造と鉄骨造の実物大建物や実物サンプル、実技スペースを用いて学びます。数多くのチェック項目の確認や点検・検査の実技を行い、構造のカットモデルや設備機器などの実物を通して、「見て・さわって・やって」施工管理上のポイントや、図面だけでは理解しにくい箇所の理解を深めます。

2 3 土木実習設備



屋内実習棟にラーメン高架橋を、屋外には道路橋や盛土、地下工事に用いる仮設構造物等、建設途中段階も含めた実物大モデルを用いて学びます。施工手順や構造、施工管理上のポイントを実体験を踏まえて学び、理解を深めます。

4 生活棟



「行くのが楽しみな場、そしてまた来たいくなる場」を目指し、若手社員を中心に検討を重ねた生活棟では、コミュニティラウンジなどを設け部門を超えた社員の絆を深めます。

5 6 危険体感実習フリースペース・安全探求ルーム

座学や過去事象展示空間で、様々な安全関係法令やルールなどの安全知識について学び、通常は体験できない建設現場の危険を再現したVR設備や、安全に危険を体感できる機器を用いて危険に気づく力、安全関係法令・ルールの本質について考える力、人に伝える力を育てます。



7 軌道実習設備

当社保守エリアの線路設備の特徴を、延長700m以上にわたりリアルに再現し、構造・材料の基礎知識や管理上のポイントを学びます。踏切・信号関係も再現しているため、軌道短絡・障検動作などを再現し、「触れる、失敗する」体験を通して信号設備の原理を理解できます。線路設備だけでなくホームや門扉なども設置し、全部門で鉄道工事の実務研修を実施します。

